

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月 24日	
滋賀県知事 三日月 大造 殿	
提出者	
住 所 滋賀県蒲生郡日野町松尾五丁目1番地	
氏 名 株式会社 奥田工務店 代表取締役 北川 昭市	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0748-52-8181	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社奥田工務店
事業場の所在地	滋賀県蒲生郡日野町松尾五丁目1番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高(令和4年10月期) 13,311,482千円
③従業員数	91名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①ガラスくず等がれき類→中間処理業者が再資源化②廃プラ→中間処理業者が再資源化(一部安定型・管理型)③金属くず→中間処理施設にて再資源化④紙くず→中間処理施設において再資源化(一部管理型)⑤繊維くず→中間処理施設にて再資源化(一部管理型)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本店【①②④】→工事現場③
支店【①②④】→工事現場③
①経営者（ISO1400に基づき方針決定）
②ISO14000環境管理責任者）
③現場代理人（ISO14000規定に基づき環境ファイルの作成）
④総務部（産業廃棄物の電子マニフェストの運用、契約書、紙マニフェストの管理業）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙『産業廃棄物の種類と排出量』の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ①各種工法の検討を行い余剰材料を削減させる		
②計画	【目標令和5年度】		
	産業廃棄物の種類	別紙『産業廃棄物の種類と排出量』の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ①各種材料の適正発注により、産業廃棄物の削減を行う ②環境パトロールにおいて、混合廃棄物を削減するため、分別状況をチェックし、可能な限り分別を行うよう指導を行う		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①各現場において分別処分を行う
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①混合廃棄物を削減し、各現場で分別収集を行う ②石膏ボード専用コンテナを設置するとともに、材料ロスを出来る限り少なくする

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-
	（これまでに実施した取組） 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	-
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-
（これまでに実施した取組） 実施なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-
（今後実施する予定の取組） 実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙『産業廃棄物の種類と排出量』の通り	
	全処理委託量	-	-
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-
	再生利用業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行う		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙『産業廃棄物の種類と排出量』の通り
	全処理委託量	-
	優良認定処理業者への 処理委託量	-
	再生利用業者への 処理委託量	-
	認定熱回収業者への 処理委託量	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-
(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者を選定を行う		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了 するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	がれき		石膏ボード		木くず	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	7548.07t	6,500.0 t	159.06t	125.0 t	178.64t	150.0 t
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量						
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	7548.07t	6,500.0 t	159.06t	125.0 t	178.64t	150.0 t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	7536.08t	6,500.0 t			112.99t	120.0 t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
これまでに実施した取組	・可能な限り各現場において廃棄物を小さくし処分業者に持ち込みを行う					
今後実施する予定の取組	・可能な限り再生処理施設において処理を行い					

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃プラ		石綿		混載		紙くず	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
排出量	83.86t	80.0 t	0.0 t	0.0 t	448.66t	350.0 t	0.0 t	1.0 t
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
全処理委託量	83.86t	80.0 t	0.0 t	0.0 t	448.66t	350.0 t		1.0 t
優良認定処理業者への処理委託量								
再生利用業者への処理委託量	36.10t	50.0 t						1.0 t
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
これまでに実施した取組	・可能な限り各現場において廃棄物を小さくし処分業者に持ち込みを行う							
今後実施する予定の取組	・出来る限り再生処理施設及び優良認定施設において処分を行う							

産業廃棄物の種類 現状と計画	繊維くず		汚泥		金属くず			
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
排出量	0.34t	1.0 t	2.75t	2.0 t	3.52t	3.5 t		
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
全処理委託量	0.34t	1.0 t	2.75t	2.0 t	3.52t	3.5 t		
優良認定処理業者への処理委託量			2.75t	2.0 t				
再生利用業者への処理委託量		1.0 t				3.5 t		
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
これまでに実施した取組	・可能な限り各現場において廃棄物を小さくし処分業者に持ち込みを行う							
今後実施する予定の取組	・出来る限り再生処理施設及び優良認定施設において処分を行う							